

令和4年度 第8回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和4年10月20日（木） 11:30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 令和4年度史跡岐阜城跡山上部発掘調査開始について

ぎふ魅力づくり推進部 文化財保護課

(2) 公共交通フェスタ2022と自動運転実証実験について

都市建設部 交通政策課

(3) ぎふ長良川の鵜飼について

ぎふ魅力づくり推進部 鵜飼観覧船事務所
文化財保護課

1-(1) 令和4年度史跡岐阜城跡山上部発掘調査開始について

(1) 山上部の発掘調査の概要

『史跡岐阜城跡整備基本計画』(R3.12月策定)に「山上部の発掘調査の推進」を重点事業として位置づけている。

計画に基づいた発掘調査を今年度も開始する。

(2) 令和3年度の発掘調査成果

- ・一ノ門(約200㎡)と天守東側(約50㎡)を調査。
- ・一ノ門では、礎石や、井戸と考えられる大型の穴を確認。一ノ門の構造解明が進んだ。
- ・天守東側では天守台東面の石垣と瓦が見つかった。池田輝政公の時期(1585-1590)に新たに石垣と瓦葺の建物を築いた可能性が高くなった。



①天守東側に築かれていた石垣
(岐阜市歴史博物館蔵絵葉書
『岐阜古城址天守閣』
(大正頃))



②天守東側で見つかった石垣



③天守東側で出土した瓦

(3) 令和4年度の発掘調査箇所と目的

- ・今年度は、引き続き一ノ門と天守東側、そして新たに天守台南西部の3か所で発掘調査を実施する(合計約520㎡)。
- ・一ノ門(約330㎡)…門の構造解明。
- ・天守東側(約160㎡)…輝政公の石垣の残存状況を確認。
- ・天守台南西部(約30㎡)…令和元年度に天守台北西部で信長公の石垣を発見した。その石垣の続きを南西部において確認する。



④令和3、4年度調査箇所



⑤天守台北西隅の石垣(令和元年度)



⑥『稻葉城址之図』に描かれた天守台の石垣
(伊奈波神社所蔵) ※○が調査箇所

(4) 調査期間

本日、**令和4年10月20日(木)**から2月中旬までの予定。

【作業日時】平日の9時30分から15時30分まで

※土・日・祝日休み、雨天中止

(5) 作業の見学について

- ・ **一ノ門**および**天守東側**については登山道沿いから見学が可能。
- ・ **天守台南西部**は場所が狭く、**危険**なため見学は行わない。
- ・ なお、岐阜公園内の**発掘案内所**で当日の調査予定をご案内している。
見学前にあらかじめご確認いただきたい。
- ・ また、調査の様子は「**岐阜城跡発掘調査**」**Twitter**で随時紹介する。

1 - (2) 公共交通フェスタ 2022 と自動運転実証実験について

1 公共交通フェスタ 2022 について

- ・明後日 22 日(土)から 23 日(日)の 2 日間、
ぎふメディアコスモスにて開催
- ・平成 26 年度から毎年開催しており、今回で 9 回目
- ・学識経験者や公共交通の利用者の方たちで構成する
岐阜市総合交通協議会および、
岐阜乗合自動車株式会社様の主催
- ・今年のテーマは「シン・公共交通」
交通に親しむ、新しい交通にふれる、深く交通を知る
- ・新しい企画として、
 - ▶ 岐阜市立女子短期大学の学生のご協力を得て、
連節バスをステージにみたてた「連節バス de ファッションショー」
 - ▶ 市立図書館の司書による
コミュニティバス車内でのバスにまつわる絵本の読み聞かせ

詳細は別紙チラシにて



昨年の様子(公共交通フェスタ 2021)

2 自動運転実証実験について

(1) 自動運転実証実験

- ・フェスタの初日の会場にて開催する**出発式**を皮切りに、
約 1 ヶ月間に渡る**自動運転実証実験がスタート**
- ・体験乗車の**募集定員 1,000 人**に対し、
市内だけでなく市外、さらには県外の皆様から、
約 1,300 人ももの応募
- ・今年の大きな特徴として、**歩行者と自動車が分離されていない道路**を走行
- ・川原町は時速 9 km 以下とし、**対向車や歩行者に配慮しつつ**、
車窓から**古いまちなみを楽しめる**よう、道路環境に応じて速度を適切に設定
- ・約 1 ヶ月間の実証実験により、**社会受容性を高めていきたい**。



川原町の走行状況

(2) レベル 4 の自動運転

- ・新たな**チャレンジ**として、フェスタ会場内にて、**県内初の試み**となる、
限られた場所を**運転手なしで走行するレベル 4 の自動運転**を実施
- ・ご来場の皆様に、**実際に乗っていただける機会**を設ける

1 - (3) ぎふ長良川の鶺鴒について

1. 開催状況

- (1) 開催日数 **150日** (R3 67日、R2 102日、R元 147日)
(2) 中止日数 **7日** (R3 90日、R2 55日、R元 10日)
(3) 観覧船乗船客数 **3,229隻 52,889人**

中止日予約数 2,460人

(令和3年：13,910人 比較 380.22%)

(令和2年：15,310人 比較 345.45%)

(令和元年：91,178人 比較 58.00%)

2. 高級観覧船の就航

(1) 実績

271隻 (15人乗り：藍山88隻、花篝74隻、10人乗り：白月109隻)

使用料収入：31,415千円 → 増収効果：**15,146千円**

☛ 鶺鴒観覧船事業の収支改善に寄与

観覧船使用料 181,842千円 (見込み)

・内高級観覧船 31,415千円 (全体の**17.3%**)

※改造経費 15,032千円

(2) 主な利用形態

懇親会、接待、記念日での利用、視察旅行など

懇親会：50.9% 接待：16.6%

記念日：13.3% 視察旅行：9.2%

3. 来シーズンに向けて

(1) 安全な航路の整備

- ・ぎふ長良川鶺鴒まちづくり計画に基づく砂礫河原再生 (国)
- ・運航に支障となる河川内に堆積した土砂の浚渫 (市)

(2) 新造船の造船

- ・船大工により、木造和船 (1隻) を造船
- ☛ インバウンド需要を見据えた**下足のまま利用のできる観覧船**の造船を計画